

経営者・現場班長の安全意識が現場技能者を守る

1 目的

林業の労働災害発生率は全産業平均の約10倍あり、労働災害リスクの低減が急務です。事故やトラブルの多くは「ちょっとした油断」や「連絡不足」から起こると言われており、現場のそのようなリスクをいち早く察知し、未然に防ぐことが重要です。現場管理の責任者である現場班長の的確な判断や声かけ一つで、現場の雰囲気や安全意識は大きく変わります。

また、経営者も現場班長を支え、積極的に労働安全衛生に取り組むことが必要です。

そこで、本研修は経営者・現場班長に改めて安全の重要性を伝え、組織全体で労働災害防止を図ることを目的に開催します。

2 開催日時・場所

(1)日時 令和8年2月10日(火) 13時～16時

(2)場所 長野県林業総合センター 大研修室

3 研修内容

(1)講義 「経営者・現場班長の安全意識が現場技能者を守る」

【13:00～14:30】

講師：森林ヒューマン・ファクター研究所

所長 山田 容三 氏

———休憩 15 分———

(2)実習 「林業安全ゲーム～チェーンソー伐木作業編～」

【14:45～16:00】

講師：山田 容三 氏

4 対象者

①県内の林業事業体の経営者・安全衛生推進者・現場班長等 30名程

②聴講・見学 20名程

5 募集期限

令和8年12月26日(金)別紙「参加申込書」を長野県林業労働財団に提出のこと

＊参加者が定員以上となった場合は、調整させていただきます。

6 その他

気象災害、交通障害等で開催が困難と判断した場合には、速やかに参加事業体に連絡するとともに、2月18日(水)での開催を調整して別途連絡します。